



Future begins with engineers and JSPE

ホーム
Home

JSPEについて
About JSPE

技術倫理
Ethics

イベントカレンダー
Events

刊行物
Publications

[最新情報Home](#)

第42回Engineers' Salon 議事録 – テーマ「中東事情」 –

The Current Development Situation in Dubai & Middle East

日時：2009年7月1日(水) 午後7時～9時30分

場所：赤坂事務所

出席人数：10人

参加者（敬称略）：日野（講師）、神野、前田、中村、水谷、山本、茂木、金城、平山、藤村（文責）

ドバイから帰国された大成建設の日野さんにドバイ及び中東の現状について発表していただきました。

パームジュメイラ人工島海底トンネル道路プロジェクト

海底トンネルの一般的な工法である沈埋工法が予定されていたが、大成建設提案の開削工法が採用された。海をいったん堰き止めるこの工法ではトンネル工事中でも人工島両端では車両通行が可能となりパームジュメイラ建設工程に大きく寄与した。

環境への配慮

人工島建設によってどの程度環境への影響がでるか、コンピュータシミュレーションで解析が行われた。海岸に沿って流れる海流が止まり海水が滞留してしまうため、水質の悪化が懸念されが、大成の日本での実績をもとに、人工島でも海藻類の繁茂による水質浄化を行った。

また、海水排水時に、堤防内に取り残された多くの海洋生物、地元の漁業関係者の協力を得つつ救出作戦を実施したことなど、興味深いお話でした。

ドバイと日本との関係

ドバイと日本は関係が厚く日本企業の進出、参画を歓迎しているという。モノレール、インターチェンジ、タワービルなど、日本企業の受注も少なくないようです。

ドバイでの投資、開発の現状について

最盛期には、UAE全体で四半期ごとにB-USD 150 (約15兆円)だった投資が、昨年の金融危機以降落ち込んでいる。それでも2008年第4四半期には、B-USD 15 (1.5兆円) の投資がある。お金の元はイスラム金融だそうです。

工事が減少し、インド人など労働者が大量に自国へ戻ることなど、ドバイにとどまらない問題を抱えているようです。

今後のドバイ開発の展開

パームジュメイラの住宅は、転売に転売を重ねて値上がりが続けてきたようですが、昨年の経済危機以来、特にアパート住宅価格は暴落している様子です。テナントビルやショッピングモールなども、外装だけで中身は無いなど、進出する企業もテナントも

進出を躊躇している様子。

現在はアブダビによる一部救済を受け、事業の再開に向けて再建中とのこと。新空港と物流基地、ルーブル美術館、MASDARによる二酸化炭素排出ゼロのECO CITYなどのプロジェクトの成功が期待されています。

2. 第二部

ドバイでの公務員の待遇、教育のこと、中東でのエンジニアの雇用環境や就職機会など広範な話題に話が弾みました。

金融危機を経た現在でも、ドバイを始め中東には世界の著名エンジニアリング会社、設計事務所、コントラクターが名を連ね、世界に羽ばたくプロフェッショナル・エンジニア諸兄にとっては、まだまだ魅力的な仕事がありそうです。

3. 次回開催

9月中の水曜日を予定しており、話題は検討中です。

(文責：藤村)

以上

[2009年07月24日\(金\)11時30分](#) [この記事のURL](#) [Event](#) [admin](#)

Script : [Web Diary Professional](#)

(C) 2003-2013 The Japan Society of Professional Engineers/All Right Reserved. E-mail: webmaster@jspe.org